

令和元年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	リニア整備課	事業No.	47
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	新規
		開始	H29	終了	R9
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画		12	リニア時代を支える都市基盤を整備する	
	分野別計画				
	法令・例規等				
事業目的	対象	代替地候補地			
	意図	リニア関連事業による移転対象者の代替地を整備			

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)
	令和3年度の代替地整備工事完了に向け、地権者をはじめとする関係者、関係地区及び関係機関と協議、協力を得ながら、測量・調査・工事を進めました。 また、代替地用地(丹保北条地区)の取得、代替地として提供いただける土地(座光寺地区)の取得に向けた調整、準備を進めました。		代替地整備業務等委託料				64,284
			道路改良工事費				60,370
			造成工事費				45,675
			排水施設整備工事費				77,000
			事業用地買収費				29,460
			物件移転等補償費				3,632
その他の経費				1,607			
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	
	代替地整備計画・測量・調査・設計	地区		3	3	1	1
	代替地整備工事	地区			0.5	0.5	
1年度決算(千円)	予算額	758,917	特定財源内訳及び補足事項				
	決算額	282,028	(国)社会資本整備総合交付金(道路整備)(5/10) 33,145千円				
	財源の状況	国庫支出金	43,919	(国)防災・安全交付金事業(道路整備)(5.5/10) 10,774千円			
		県支出金	0	(地)公共事業等(充当率90%) 37,700千円			
		地方債	52,500	(地)一般単独(充当率75%) 14,800千円			
		その他	64,225	(そ)リニア中央新幹線飯田駅整備推進基金繰入金 47,092千円、繰越金 17,133千円			
一般財源	121,384	30→1 繰越明許費 17,133千円 1→2 繰越明許費 476,149千円					

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	17	10	7	758,917	282,028	リニア代替地整備事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		<ul style="list-style-type: none"> ・工事实施にあたり周辺環境への影響が大きく、周辺関係者への配慮が必要となります。 ・移転対象者が代替地を申し込む段階で、ある程度造成計画の地形が現地で確認できるように工事を進める必要があります。 ・共和地区の代替地は広域的施設の整備範囲外で検討する必要があります。 							
上記の課題解決のための有効策		<ul style="list-style-type: none"> ・仮設工事や安全対策を講じて、周辺関係者の理解を得て工事の進捗を図ります。 ・代替地希望申込受付前に造成計画の地形が現地で確認できるように造成工事を進めます。 ・共和地区は、地元及び関係者と協議し整備計画を策定します。 							
次年度に向けての取り組み		<ul style="list-style-type: none"> ・丹保北条地区及び唐沢、宮の前地区は、道路・排水施設工事、造成工事の年度内完了を目指します。 ・共和地区は、整備計画を策定し、道路事業、造成整備計画の実施に向けて測量・調査・設計を進めます。 							